

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20606
事業名	地域総合整備資金貸付金					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 商業・経営支援				
	課長名	高橋	担当者名	山本	電話番号	211-2372
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	地域振興に資する民間事業活動等を資金面で支援するため。			
		長期	活力と魅力ある地域づくりの推進を図るため。			
	取組内容	《目的》地域振興に資する民間事業活動等を資金面で支援するため。 《内容》地域経済の活性化や地域振興に資する事業を行う民間事業者に対して、地域総合整備財団を通じ、無利子の事業資金の貸し付けを行う。 ※地域総合整備資金貸付制度は、国のふるさと創生施策の一環として設けられた制度であり、無利子融資の原資には、地方債の起債が許可され、また地方債の利子の償還については、利子相当分の75%が地方交付税で措置される。				
	実施結果	令和3年度においては、新規貸付申請はなかったが、過年度融資分の残高管理等を適正に実施した。 ※これまでの累計で、27事業(35件)合計約64億円の貸付けを実施				
事業実施における工夫点	なし					
対象者	地域経済の活性化や地域振興に資する事業を行う民間事業者等	開始	平成3年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	地域総合整備資金貸付要綱、札幌市地域総合整備資金貸付要綱					
他都市の状況	他の政令市においても同様に事業を実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		0	100,000	0	100,000
うち特定財源		47,902	147,902	47,902	147,902
人工		0.2	0.2	0.1	0.1
人件費		1,440	1,440	720	720
計(事業費+人件費)		1,440	101,440	720	100,720
事業費の内訳	令和3年度決算	0千円 ※申請なし ※特定財源は過年度の貸付けに対する償還金			
	令和4年度予算	地域総合整備資金貸付金 100,000千円 (老人介護保健施設事業1件分を想定) ※特定財源は、市債と償還金			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	申請件数に対する貸付決定割合		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	—	100%	—	100%
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	申請件数1件あたりの新規雇用人数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	—	10人	—	10人
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新規申請に対して適切に貸付を実施したほか、新規申込み等のニーズに応えられるよう十分な融資枠を用意した。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本事業は地域総合整備財団の規定に従った制度であり、適当である。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	本事業は地域総合整備財団の規定に従った制度であり、適当である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	国の要綱改正にあわせて、適宜、現状に即した見直しを行っている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	国の要綱改正にあわせて、適宜、現状に即した見直しを検討する。			
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	新規融資申請のニーズに応えられるよう十分な融資枠を用意した。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 近年の低金利の状況下において、本貸付の利用に関わらず、売り上げ(生産)能力の拡大を目的とした積極的な設備投資は進んでいる。借入方法の選択肢の1つとして今後も事業の運用を継続する。		
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 想定する事業に応じて、十分な融資枠を確保する。		見直し効果額 0 千円